

7. 主な報道発表 (2022年2月1日以降)



◀こちらから当社ホームページをご覧ください

詳細な内容は当社ホームページ <http://www.japc.co.jp> をご覧ください。

新型コロナウイルスに関するお知らせ

敦賀発電所における新型コロナウイルス感染について

当社は、2月、敦賀発電所に勤務する当社社員9名、当社グループ会社社員11名および当社協力会社社員6名が新型コロナウイルスに感染していることを確認しました。(都度お知らせ)

当社では、これまで新型コロナウイルスの感染予防・拡大防止対策を実施しており、発電所の運営に影響はありません。引き続き、感染拡大防止に努めてまいります。

げんでんふれあいギャラリー展示のお知らせ



◀こちらから げんでんふれあいギャラリーのホームページをご覧ください

◆第3回 敦賀水彩画教室作品展 3月1日(火)～6日(日) 最終日は15:30まで

柴田 邦彦 先生(日本美術家連盟会員)を講師にむかえ、松原公民館で活動されている敦賀水彩画教室の21名の皆さまによる水彩画展です。豊かな感性あふれる作品33点を展示しています。

◆第7回 木上 紀治 水彩画展 3月15日(火)～20日(日)

当ギャラリーでは7回目となる木上 紀治 様の水彩画展です。敦賀市や滋賀県など近郊の風景や、静物などを描いた水彩画の作品35点を展示予定です。

◆逸遊会 気の向くままに楽しく描こう会! 3月22日(火)～27日(日)

当ギャラリーでは5回目となる逸遊会(代表:杉田 司子 様)の3名の皆さまによる絵画作品展です。水彩やアクリルで表現された風景画や静物画、抽象画など30点を展示予定です。

◆第12回 栗野写真倶楽部 写真展 3月29日(火)～4月3日(日)

栗野写真倶楽部(代表:原田 壽 様)の11名の皆さまによる12回目の写真展です。今回の展示ではテーマを決めず、自分らしさを表現した作品33点を展示予定です。

◆井加田 博 個展 存在を描く 4月5日(火)～10日(日)

当ギャラリーでは5回目の井加田 博 様による絵画作品展です。人物や花などを緻密に描き込んだ作品20点を展示予定です。



感染防止徹底宣言ステッカーを取得しています

お問合せ

げんでんふれあいギャラリー 敦賀市本町2丁目9-16
 フリーダイヤル 0120-749-201 FAX 0770-25-5603
 開館時間 10:00～16:30※ 休館日 12月29日～1月3日
 ※新型コロナウイルス感染予防対策のため、開館時間を短縮しています。
<http://www.japc.co.jp/tsuruga/fureai/event/index.html>

げんでんふれあい広場 開催のお知らせ

地域の皆さまに、当社の概要や敦賀発電所運営状況などをご紹介する「げんでんふれあい広場」を下記のとおり開催します。お気軽にお立ち寄りください。

開催日時: 3月12日(土) 10:00～17:00
 3月13日(日) 10:00～16:30

入場無料

場所: かく〜る 敦賀市神楽町1丁目1-5 (氣比神宮前)

内容: げんでんパネルクイズ(粗品プレゼント!)

敦賀発電所見学 VR 体験

身の回りの物やクリアランスベンチの放射線測定体験

美浜原子力緊急事態支援センターの遠隔操作小型ロボット展示

ガラポン抽選 など



放射線測定体験
 測定器で放射線量をはかってみよう!

小型ロボット展示
 模型ロボットの操作も体験できます!

本資料の作成元・お問合せ先: 日本原子力発電株式会社 (略称: げんでん) 敦賀事業本部 立地・地域共生部

TEL: 0770-25-5713 住所: 敦賀市本町2-9-16



げんでん いんぷおめーしょん 3月号

2022年3月1日

No.211

1. 敦賀発電所の状況 (2022年3月1日現在)

プラント(炉型)	状況
1号機(沸騰水型)	<p>●2017年5月15日より廃止措置工事中(廃止措置期間:24年)</p> <p>○圧縮減容装置設置工事(2022年1月11日～)</p> <p>廃止措置とは、運転を終了した原子力発電所を解体・撤去し、これに伴い発生する廃棄物を処理・処分し、更地にするまでの一連の作業・措置のこと。</p>
2号機(加圧水型)	<p>電気出力116.0万kW, 1987年2月17日の営業運転開始以降の総発電電力量1922億9908.3万kWh</p> <p>●2011年8月29日～ 第18回定期検査中</p> <p>●新規制基準への適合性確認審査対応中</p> <p>○福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全対策を行っています。</p> <p>=敦賀発電所2号機の新規制基準への適合性確認審査の状況について=</p> <p>原子力規制委員会による審査は、現在、敷地内破砕帯評価と地震動評価(地震の揺れ)の二つの論点について進められています。</p> <p>2020年2月の敷地内破砕帯評価に関する審査会合において、敷地北側にある断層(K断層)と2号機原子炉建屋の直下にある破砕帯との関連性について当社から説明したところ、審査資料に当初記載していたボーリングコアの肉眼による観察結果を削除し、詳細データとなる顕微鏡によるコアの薄片観察結果のみの記載に変更したことについて、不適切であるとのこと指摘を受けました。</p> <p>ご指摘を受けた件については、審査とは別に品質保証に係る検査として確認していただくことで、審査を継続していただいておりますが、2021年8月18日に開催された原子力規制委員会において、調査データに基づく当社の評価結果の信頼性が確保されるために必要な業務プロセスの構築が確認されるまでの間は、審査会合を実施しないという方針が示されました。</p> <p>当社は、原子力規制委員会の決定を重く受け止めるとともに、審査の進展を期待していただいている地域の皆さまに多大なるご心配をおかけしていることを、心より深くお詫び申し上げます。</p> <p>業務プロセス構築の取組み状況は、その後の検査においてご確認していただいております。2021年10月26日に開催された公開会合では、社内規程の見直しに加え、新たな規程を制定することとし、それらに基づいた審査資料を提出できるよう進める旨をご説明しました。</p> <p>当社は、12月末までに審査資料の作成体制に係る社内規程の改正などを行ったところであり、現在見直した作成体制の下で審査資料すべてについて問題ないか確認し、不足している資料があれば新たに作成するなどの作業を進めています。</p> <p>引き続き、品質が確保された審査資料を整えられるよう全力で取り組んでまいります。</p>

2. 敦賀発電所3, 4号機準備工事の状況 (2022年3月1日現在)

現在、原子炉建屋背後斜面の緑化管理等の建設予定地維持管理およびコンクリート製造・供給プラントの設備維持管理等を継続して行っています。



建設予定地の状況(2022年2月24日撮影)

3. トピックス

(1) 敦賀市原子力発電所懇談会にて敦賀発電所の近況を説明

敦賀市では、原子力発電所の運営状況や防災対策などについて、事業者から市内各団体代表者などの方々へ説明し、意見交換を行う場として敦賀市原子力発電所懇談会（以下、懇談会）を開催しています。

2月15日の懇談会において当社は、敦賀発電所1号機の廃止措置工事や敦賀発電所2号機の新規制基準への適合性確認審査の状況などを説明し、委員の方々へ質疑応答を行いました。

総括として座長の渕上敦賀市長からは、「敦賀発電所2号機は、原子力規制委員会の指摘を踏まえ、審査資料に間違いのないようしっかり対応してほしい」「クリアランスについては市民の方々に安全だと理解してもらえよう取り組んでほしい」などのご意見をいただきました。



敦賀市原子力発電所懇談会において説明する立地・地域共生部長（写真奥中央）

(2) 光産業創成大学院大学にクリアランスベンチを展示

当社では、クリアランス制度の社会定着に向けた理解促進活動の一環として、関係機関のご理解・ご協力を得ながらクリアランスベンチの展示拡大に取り組んでいます。

2月17日、福井県外の民間施設では2か所目となる光産業創成大学院大学（静岡県浜松市）にベンチ1脚を展示させていただきました。

ベンチは大学玄関に設置し、PR用展示としてだけでなく、大学関係者の皆さまの入構の際の靴履き替え用として一般にご活用いただいています。

※福井県の嶺南Eコースト計画策定以降、福井県内外の11施設（民間施設含む）に計15脚のベンチを展示しています。

【クリアランス制度】
原子力発電所の解体などで発生する金属やコンクリートなどについて、放射能レベルが人体への影響を無視できるほど極めて低いものを、一般のリサイクル物として再利用または産業廃棄物として処分することができる制度。



▲光産業創成大学院大学
◀玄関に展示したクリアランスベンチと大学事務局の村田様



(3) げんでんふれあいギャラリーで敦賀市内高等学校生徒3校合同作品展を開催

1月25日から30日、げんでんふれあいギャラリーにおいて、敦賀市内の高等学校3校（敦賀気比高等学校・敦賀工業高等学校・敦賀高等学校）合同の絵画、書道、研究作品展を初めて開催し、各高等学校の授業やクラブ活動などで制作した作品38点を展示しました。

この作品展は、新型コロナウイルス禍によって気分が沈みがちになる中、高校生の若さあふれる作品をご覧いただき明るい気持ちになっていただければと、当社が各校に依頼して開催しました。

気比高校はみずみずしい感性で描かれたデザイン画や油絵、敦賀工業高校は個性あふれる研究作品やパネル紹介、敦賀高校は美術部・書道部の繊細で力強い作品を展示しました。

開催期間中は、学生や家族連れなど多くの方がお越しになり、高校生の力作を熱心にご覧になっていました。



熱心に展示作品をご覧になるご来場の方々

4. コミュニケーション活動

・訪問対話活動を実施

当社では、社員が地域の皆さまのお宅を訪問し、直接ご意見をいただく「訪問対話活動」を定期的に行っています。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、敦賀市内全戸への訪問を控え、敦賀市の区長さま（131戸）のみへの訪問を1月下旬に行いました。

また、敦賀発電所などの近況や敦賀の街づくりに取り組んでいる方々を掲載したリーフレット「こんにちは！げんでんです」を、敦賀市内の皆さまには新聞折込み、近隣町の区長さまには郵送にてお届けしました。

訪問させていただいた区長様からは、「安全第一で取り組んでもらいたい」「原子力発電について若い世代への理解活動が必要だ」などのご意見をいただきました。

当社は、今後も新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、地域の皆さまとのコミュニケーションを深める活動に取り組んでまいります。



区長さまへの説明の様子

5. 次世代層への教育支援活動

・小学校へのお出前授業を実施

「出前授業」は、次世代層に科学やエネルギーに興味を持ってもらうため、福井県内の学校に当社社員が出向いて理科の授業を行う活動です。2月10日、敦賀市立敦賀南小学校の特別支援学級を対象とした「種のふしぎ」の授業を行いました。

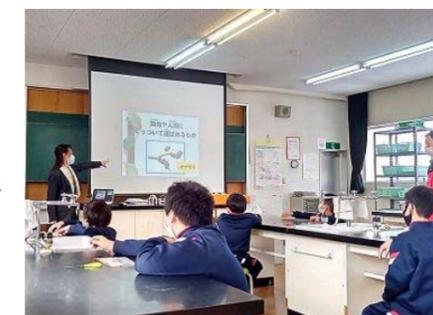
種子が遠くに移動するための工夫についての説明のあと、羽根のついた

種子の模型を作り、回転しながら飛ぶ種子や風に乗って滑空する種子の仕組みを学習しました。

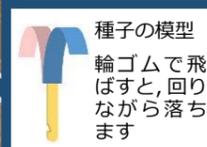
児童の皆さんは、熱心に種子の模型を作り、種子の動きや仕組みに興味津々でした。



種子の模型を作って飛ばしてみよう！



出前授業の様子



種子の模型
輪ゴムで飛ばすと、回りながら落ちます

6. 敦賀総合研修センター 公開研修コースのお知らせ



◀こちらから敦賀総合研修センターのホームページをご覧ください

敦賀総合研修センターでは、2022年度、新型コロナウイルスの感染予防対策を講じたうえで29コースの公開研修を計画しています。以下は、申込み期限が近づいている主なコースの内容です（2021年度の公開研修お申込み受付は終了しました）。その他の公開研修コースの詳細、応募方法は、QRコード※または下記URLから当社ホームページをご覧ください。

※QRコードは（株）デンソーウェブの登録商標です

なお、当面の間、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、福井県以外の地域からの受講お申込みをお断りしています。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

📄 <http://www.japc.co.jp/tsuruga/tsuruga-training/index.html>

研修名	研修概要	研修期間	申込期限
現場管理コース	現場作業で必要となる労働安全・設備安全を確保するために必要な管理技術について、日常的に実践で役立つ事項および災害発生時に役立つ対処方法などを学びます。本コースは、原子力作業現場に限らず、一般作業現場においても有益な研修です。	5月27日	4月15日

公開研修に関するお申込み・お問合せ先

敦賀総合研修センター（敦賀市沓見165号9番地6）
電話：0770-21-9700 FAX：0770-21-9726（応募申込専用）
メールアドレス：tsuruga-tr-center@japc.co.jp

敦賀総合研修センター

